

NEWS GOPE

インターネット・ニュースの見方

eye 1

NETWORLD+INTEROP '98 Las Vegas レポート 企業の情報基盤として根付く コンピュータネットワーク

5月4日から8日まで、米国ラスベガスでコンピュータネットワーク最大の展示会とコンファレンス「NETWORLD+INTEROP'98」(主催:ソフトバンクフォーラム)が開催された。このイベントはワールドツアーとして世界各地でも開催されており、日本でも来る6月3日から幕張メッセにて開催される予定だ。 本誌編集長:中島由弘

企業の情報基盤となる コンピュータネットワーク

米国で開催されるネットワーク関連イベントとしては「INTERNET WORLD」があるが、こちらは主にコンシューマー向け商品が出展されている。これに対して「NETWORLD+INTEROP '98」では企業で導入するネットワーク機器が主に出展され、どちらかというネットワークのプロフェッショナル向けの展示会という性格がある。

いずれの展示会からも、米国のコンピュータネットワーク事情は企業の情報基盤として定着しつつあり、日本のコンピュータネットワークとの温度差がますます広がっていることがうかがえる。

昨年秋に開催された「INTERNET WORLD」でもe-Businessというキーワードが目立ち始め、コンピュータネットワークが企業の情報基盤になりつつあることを紹介

したが、「NETWORLD+INTEROP」はさらにそれを印象づけるに十分なものであった。

話題はVPNとテレフォニー

「NETWORLD+INTEROP」の最大の話題は、VPNとテレフォニーの2つだ。VPNとは「バーチャル・プライベート・ネットワーク」の略で、離れたところにある複数のネットワーク同士をインターネットでつないでも、単一のネットワークであるかのように使える技術である。また、テレフォニーはコンピュータネットワークを使って音声を送り、電話として機能させようというものである。

実はこの2つの話題は表裏一体だ。なぜなら、この2つは回線を持つ通信事業者(キャリア)兼プロバイダーが接続サービスの品目として双方とも提供しているものだからだ。つまり、企業は電話を引きたいとか、インターネットをつなぎたいとかいう個別のサービ



基調講演に立つワールドコム社のジョン・シグモア氏

スではなく、「情報通信回線」が欲しいわけで、だから音声とデータの総合的なデジタル通信サービスを提供するのである。もちろん光ファイバーを使った高速のデジタル通信回線であり、すでにインターネットは従来の電話やファクシミリと同格の、必須といえる通信手段となっているのだ。

また、これまでのTCP/IPベースの接続サービスはベストエフォート型のサービスであり、あるときは品質が悪いということもあり得た。しかし、ここにきてギランティ型、つまり保証された帯域をVPNとして買うことができるような品目も用意され始めている。

現実味のあるxDSL

日本でもNTTによる実証実験が始まった。また有線放送電話網を使った実験の成果が発表されたりと、にわかに話題を集めている技術であるxDSLに関して、多くの製

品群が出展されていた。あらためて説明をしておく、xDSLは既存の銅線を使ったメタルケーブルで数Mbpsの通信を実現する技術であり、通信基盤の光ファイバー化を待たなくても高速なデジタル通信ができるものである。

日本国内においては既存のISDN網との電氣的干渉の問題などがあり、理論値どおりの性能が出ないという報告があることや、ユーザー側だけではなく電話局側にもxDSLの設備を用意しなければならないということから、NTTがサービスを提供しない限り利用できるようなにはならない。

米国では複数の通信事業者間の競争があるため、新たなサービスを競って提供することから、xDSLも重要なサービス品目として位置付けられている。また、ハードウェアベンダーもxDSLモデムを開発しており、光ファイバーを利用できない顧客に対して次善の策としてのxDSLを提供しようというのである。

米国ではメタルケーブルでもメガ単位の通信を見据えているというわけだ。一方でISDNの普及率は低く、日本のような高機能で低価格なターミナルアダプターの姿はない。

こうした動向を見ると、xDSLは実験とか夢の技術ではなく、すでにサービス可能なものとして存在しているという印象が強い。

このような新サービスの品目を用意している米国のプロバイダー事情については、本誌次号の「米国インターネット最先端レポート」(小池良次氏)にて詳しく紹介する予定にしているのでご期待いただきたい。

日本も通信市場の開放によって、米国大手通信事業者であるワールドコム社が参入してくるなど、国内の動向を占ううえでも、こうした米国通信事業者の動向は対岸の火事というわけにもいかない時代は、もうそこまで来ているかもしれない。

基調講演はセンセーショナルではないが...

米国のコンファレンスのお楽しみといえばキーノートスピーチだが、今回は初日にスリーコム社のCEOであるエリック・ベナム氏とワールドコム社のジョン・シグモア氏、2

日目がマイクロソフト社のパーソナル&ビジネスシステムグループ上級副社長であるジム・アルデン氏、3日目がリアルネットワークス社のCEOであるロブ・グレイサー氏である。

エリック・ベナム氏はデータ通信と音声通信のコンバージェンスを進めていくための提言、ジョン・シグモア氏はキャリアとしての接続サービスのビジョン、ジム・アルデン氏はウィンドウズNTサーバーを中心としたマイクロソフト社のエンタープライズネットワークの構想について、そしてロブ・グレイサー氏はコンピュータネットワークでのマルチメディア情報の価値と自社のリアルプレーヤーG2のプレゼンテーションとなった。

いずれの話題も夢や理想などセンセーショナルなものというよりは、すでに目の前の課題となっている企業の情報基盤であるコンピュータネットワークをはっきりと見据え、より戦略的なビジネスを展開していくための青写真を広げた形である。日本の情報基盤や企業におけるコンピュータネットワークの利用の実情を思い描きながら聞くと、どうも浮世離れした話題に聞こえてしまうが、米国内においては、具体的な話題として冷静に捉えられているのだろう。

果たして日本は...

日本におけるNETWORLD+INTEROPの展示会は本誌発売直後の6月3日から幕張メッセで開催されるが、果たしてその内容はどうなるのだろうか？

停滞する日本の経済状況のなかでコンピュータネットワークへの投資は加速しているとは言い難く、しかも回線のコストも米国ほど恵まれているわけではない。

政府の経済対策に情報通信という話題は含まれていても、一番はやはり道路をはじめとする土木事業が主たるものであり、情報通



基調講演に立つプログレッシブネットワーク社のロブ・グレイサー氏

信に関しては手厚いとは言い難い。そもそも情報のデジタル化が遅れている日本で、インフラストラクチャーだけが進むことにどれだけの価値があるのかは疑問ではあるが.....。

いずれにしても、誰でも「情報発信」ができるメディアとしてのインターネットという捉え方ではなく、B to B (Business to Business ; 企業間) によるビジネス基盤としてのネットワーク利用という捉え方をしている米国市場との違いをあらためて感じることとなった。今後、企業におけるコンピュータネットワークのアクティビティが企業体力の違いになっていったときに本格的な国際競争力が問われることになるのかもしれない。



展示会場風景

HP社が暗号技術の対日輸出許可を取得 VerSecureテクノロジー発表

5月12日から14日までの3日間、東京ビッグサイトにおいて「HP WORLD '98」が開催された。いくつかの発表の中でもっとも興味深いのは、HP社が128ビットのトリプルDES暗号技術「VerSecure」の対日輸出許可を米国政府から取得したという話題だ。同イベントのため、ルー・プラット会長兼CEOとともに来日したVerSecure担当ディレクターのダグ・マクガウアン氏は、新しい暗号技術の可能性を語ってくれた。 編集部



ヒューレット・パッカード社会長兼CEO
ルー・プラット氏

各国の政策に応じた 暗号の流通を実現

VerSecureは今年の2月27日にヒューレット・パッカード(HP)社によって発表された128ビットのトリプルDES暗号技術。現在、暗号技術として提供されているアルゴリズムのほとんどがこれに含まれている。すでに、イギリス、ドイツ、フランス、デンマーク、オーストラリアの5か国への輸出許可を取得している。5月12日の発表で日本が6番目の輸出認可国となった。

この技術の特徴は、出荷時には暗号メソッドが動作しない状態になっており、各国に置かれた「SDA」(Security Domain Authority)と呼ばれる組織が配布する「トークン」によって起動できるという仕組みにある。トークンには、暗号に使用するメソッドの種類や鍵の長さ、有効期間、キーカバリーを採用するかどうかなど、各国政府の政策を定義できるようになっている。これによって、SDAを持たない輸出禁



VerSecure担当ディレクター
ダグ・マクガウアン氏

止国に暗号技術が使われる危険はなくなる。PGPやSETなど、既存の技術との関係についてマクガウアン氏は次のように解説している。

「VerSecureは新しい暗号アルゴリズムではなく、既存のアルゴリズムへのアクセスをコントロールする、あるいは補完するものです。これによって、現在のPGPやSETを輸出可能な形に変えられるのです。暗号化技術を国際的に統合するプラットフォームと考えてください」

銀行などの企業をSDAに

VerSecureの運用には、インストールと管理およびトークンの配布を行うSDAが大きな役割を担う。日本では日本ヒューレット・パッカード株式会社が最初のSDAとして米国政府から承認されている。

今後の展開についてマクガウアン氏は次のように予想する。

「SDAはエレクトロニックコマースにおけるデジタル認証の発行機関とほぼ同じ役割を果たします。日本に新しいSDAを設置する場合、HP社がアメリカ政府に承認を得る必要があります。つまり、アメリカ政府が知らないような企業をSDAにするのは不可能です。候補としては銀行や金融機関、電気通信事業者などが考えられます」

スマートカードの輸出にも貢献

HP WORLD '98の基調講演で会長兼CEOのルー・プラット氏は、「E-Business」

「E-Commerce」、「E-Consumer」などのキーワードをあげ、企業や家庭における情報交換の多くがインターネットで行われる世界「エレクトロニック・ワールド」について語った。なかでも、「スマートカード」によるインターネットバンキングや電子支払いシステムの普及といった話題が強調された。

マクガウアン氏はVerSecureがスマートカードの普及にも大きな役割を果たすと予想する。

「その用途から考えて、暗号技術を含むスマートカードは今後ますます増えていくはずですが、ところが、多くのベンダーがすでに発表しているようなJavaアプレットを組み込んだカードの場合、これに暗号をかけた瞬間にスマートカード自体が輸出できなくなります。VerSecureの技術を使うことでこのような事態を避けられるのです」

暗号技術の標準を目指す

HP社は、VerSecureを国際的な制限を持たない初めての暗号技術であり、インターネットを利用した貿易や海外との情報交換を推し進めるものだと言及する。また、暗号技術の標準を目指すため、自社の製品にバンドルするだけでなく、ライセンス契約を結んだすべてのベンダーにこれを提供している。

日本に輸入されたVerSecureが、どのような形で製品化され、どのような分野で活用されるのか、今後も注目していきたい。

初心者にも使いやすい検索サイトへ 検索サイトgooが大幅リニューアル

インターネット上のホームページを自動的に歩き回るロボット型検索エンジンとしておなじみのgooがリニューアルし、多面性を持った検索サイトとして生まれ変わった。今回のリニューアルでは、ニュースなどの情報提供やディレクトリー検索、ウェブベースのフリーメールサービスなど、検索サイトとしては異例の新しいサービスも加わるようになった。

編集部



バリューサーチの画面。データベース利用の可能なことがわかる

検索の基礎部分がパワーアップ! 「パワーサーチ」

5月23日にリニューアルした新しいgooは、これまでの検索オプションのプルダウンメニューが並んでいたトップページが一斉に、サービスごとのタグとフレームで構成された画面となった。

今回のリニューアルの特徴は、まず検索エンジンのパワーアップがあげられる。ロボット型検索エンジンであるgooは、WWWを定期的に巡回して情報を収集・更新しているが、これまで2週間に一度程度だった巡回を、今回のリニューアルで平均1週間に一度行うようになった。さらにニュースサイトなどの頻りに更新されるサイトには1日に数度の巡回が行われるようになり、検索精度を大幅に向上させた。また、今まで同じURLのサイトが検索結果の中にいくつも表示されていたが、自動的に同じURLのサイトを判断して外す機能が加わり、結果として検索のスピードも上がった。従来「基本検索」と呼ばれていた検索のベーシックな部分は、今後は「パワーサーチ」という名称で呼ばれることになる。

初心者にも使いやすい 「バリューサーチ」

今回、新しい検索手法として「バリューサーチ」が登場。あらかじめ絞り込まれた約300万の有用なウェブサイトのなかから、ムダなくより要望に合った情報を検索することができる。またバリューサーチでは、検

索キーワードから類推されるカテゴリも同時に表示される。そのカテゴリをクリックすることで検索結果の絞り込みができるようになり、複雑な検索式を使って直接入力できない初心者でも、目指す情報を素早く見つけることが可能となった。加えて、WWW以外のデータベースも利用できるようになり、検索結果によってはニュース記事や企業、書籍などのデータベースの情報も得ることができる。これらデータベースサービスに対応する課金系プラットフォームも構築していく考えだ。

検索以外のコンテンツの追加で ポータルサイトへの道へ

このリニューアルでは、検索以外の新しいコンテンツも追加された。1つは「ホットチャンネル」と呼ばれる情報提供サービス。ウェブ上の情報をニュースを中心に提供するもので、ニュース、スポーツなど各ジャンルの最新情報を知ることができる。2つめはウェブベースの無料メールサービスである「フリーメール」。ウェブサイト上から登録するだけで、WWWブラウザから送受信可能なメールサービスを利用することができる。ほかにもWWW利用の無料グリーティングカー

ドや、シェアウェアソフトの検索、ダウンロードサービスも提供される。

基本サーチ以外のこれらの部分は、NTTが行っている「情報流通実験」として提供される。これは従来のオンラインショッピングや情報課金システムが今ひとつ伸びていないことを踏まえて、今後電子商取引の場として成立するウェブサイトを作るためのステップとして、検索をはじめとしたさまざまなコンテンツを持つポータル（玄関）サイトがふさわしいという発想から生まれた。これによりgooを「情報流通プラットフォーム」として捉え、総合的なコンテンツを提供することになった。今回の実験のなかでワンストップで情報の検索・閲覧から購入まで可能なサイトを目指していく構えだ。

URL <http://www.goo.ne.jp/>



新しいgooのトップ画面。バリューサーチとパワーサーチはタグをクリックして選択する

Product テレビとインターネットのメディアミックスを可能にする 最新インターネット端末「NCTV」登場

オラクル社の子会社、ネットワークコンピュータ社(NCI)はテレビにつなぐインターネット端末のNCTVを発表した。NCTVは単にテレビにつないでインターネットに接続できるだけでなく、インターネットとテレビ映像との融合を目指している。編集部

このたび発表されたNCTVはエイサー社製で、テレビチューナーとビデオ入出力ポート、ダイヤルアップ接続用の33.6Kbpsモデムのほか、ダイヤルアップルーターやCATVのケーブルモデムの接続を考慮したイーサネットポートが装備されている。ま



NCTV英語版の画面。テレビ番組と併せてチャットが楽しめる

たICカードスロットも用意されており、インターネットの接続は、接続サービス各社が提供するICカード(ダイヤルアップ先や各種設定、ユーザー情報が登録されている)を挿入するだけとなっている。

さらにソフトウェアとしてネットスケープナビゲーター3.01ベースのWWWブラウザや電子メールクライアントなどが組み込まれている。

類似の端末であるWebTVとNCTVの相



エイサー製NCTV

違点は、WebTVがウェブティービー社のみが接続サービスとコンテンツサービスを提供しているのに対し、NCTVでは接続サービス提供会社が専用の接続サーバーさえ用意すれば、ユーザーはどのサービス提供会社にも接続でき、各社が提供する独自コンテンツも楽しめることである。

この独自コンテンツ中にテレビ映像を操作するためのNCTV専用のHTMLタグを使用すれば、テレビ映像と組み合わせた今までにないコンテンツを配信できる。

現在NCTVの接続サービスにはいくつかのプロバイダーが参加を予定している。また、DTIはオラクル社とともにNCTV向けのサーバー構築事業を行うと発表している(P412参照)。

テレビ映像とウェブコンテンツを組み合わせたものとしては、現在はテレビ朝日のADAMSへの対応が予定されているが、さらなるコンテンツの充実を期待したい。

Technology 街角で気軽にインターネット接続できる ISDNステーション「ComBase」の実用化実験開始

昨年10月に発表されたNTTのキオスク型マルチメディア情報端末の「ComBase」が、5月15日より本格的に実用化実験を開始した。高度マルチメディアサービス展開に向け、「PHOENIXプロジェクト推進協議会」会員の協力の下に始動したComBaseの実験概要をここに説明しよう。編集部

次世代公衆電話ともいわれるComBaseは、その実験1号機が3月20日にマクドナルド赤坂見附店に設置され、すでに実験は開始されていた。その実施方法は、メールを使っている一般ユーザーからモニターを募集して、ComBaseを利用した感想などをアンケートとして回収したものであった。今回は第二期実験として、ComBaseを都内約40か所に設置する予定になっている。本実験の第1号機は5月15日に紀尾井町のニューオータニガーデンコート内「オカムラショールーム」に設置された。

モバイルコンピューティングの利用者が増えてきた現在、外出先でインターネット

に接続したいというニーズが高まっている。そこでNTTでは、電話と同じような感覚で気軽にISDNを使える環境を提供しようと、この実用化実験を進めている。ComBaseの利用形態はISDNを経由してインターネットやイントラネットへの接続のほか、携帯情報端末とComBaseとの間で赤外線ポート(IrDA)を使用してデータの送受信を行ったり、事前に発行されるIDカードを使ってメールをComBaseで閲覧するといった利用が想定されている。

今回の実験は来年の3月31日までの予定で、前回同様にモニターによる利用後のアンケート回収という形で実施される。モ

ニターは2000人程度の募集で、6月30日までComBase実験ホームページより登録ができる(定員に達し次第モニター募集は終了)。モニターには、ComBaseでメールを使うのに必要な情報がすべて登録されたIDカードが、無料で発行される。

今後は、この実験結果を踏まえ、ComBaseの設置場所や技術的な検証を進め、ユーザーにとって使い勝手のよいモバイル環境を目指し、製品化へ向けさらなる取り組みが行われる。このISDNステーションを街で見かける機会がますます増えるに違いない。



URL <http://hikari.mbd.mbc.ntt.co.jp/combase/jikken.htm>

Product 日本サンが
企業向けJava製品
2種を販売開始

日本サン・マイクロシステムズは、ネットワークコンピュータ「JavaStation」とその運用のためのサーバーソフト「Netra j 2.0 ソフトウェア」を6月に出荷予定と発表。Javaを利用した、プラットフォームに依存しないシステムの構築によりTCO削減を狙う企業向けの製品である。

問い合わせ 日本サン・マイクロシステムズ株式会社
カスタマー・ネットワーキング・センター TEL 03-5717-5033

URL <http://www.sun.co.jp/>



JavaStationは100% Pure Java ベースのNC

Product ソフトフロントが
オールインワンのサーバー
機器を発表

ソフトフロントは、インターネット/イントラネット向けのオールインワンサーバー「EasyServer GP-2000」を7月に発売予定であると発表した。EasyServer GP-2000はインターネット接続に必要なルーターと各種サーバーをセットとし、もともと異なる設定インターフェイスの製品を1つのプログラムで簡単に設定できるようになっている。利用できるのはWWW、電子メール、FTP、DNSの各サーバーで、ルーター側ではDHCPやフィルタリング、NATなどに対応している。リモートメンテナンスも可能で、SOHOや企業の事業所向けの製品となっている。予価は550,000円。

問い合わせ (株)ソフトフロント サービスセンター
TEL 011-736-8330

URL <http://www.softfront.co.jp/>

Product ディアイエスが
インターネット便利ツール
統合パッケージを発売

ディアイエスはインターネットに便利な8種類のツールを1つのパッケージにした「ネット君の知恵袋」を4月17日より発売した。これは、気に入ったホームページを簡単に保存できる「Webショット」やアルバム感覚でブックマークを保管できる「Webページホルダー」などが収録されている。価格は9,800円でウィンドウズ95/NT4.0用。

問い合わせ (株)ディアイエス エンタープライズソリューション本部 営業部 TEL 03-5814-2500

URL <http://www.dis.co.jp/>



収録ソフト単体の体験版
はウェブページからダウンロードできる

Product 日本サン・ソフトが
プログラミング不要の
開発ソフトを発売

日本サン・ソフトは、JavaBeansコンポーネント組み立てソフト「Java Studio 1.0 日本語版」の販売を6月11日から開始する。JavaやJavaBeansコンポーネントの技術に応用した簡単に作成できる製品のため、通常のJava開発ツールとは異なり一切プログラミングを行う必要がない。ウィンドウズ95/NT4.0用で、価格は16,800円(1ライセンス)。

問い合わせ 日本サン・ソフト
TEL 03-5562-7578

URL <http://www.sun.co.jp/>



1ライセンスの学割パック
(9,000円)も同時に発売
される

Product カシオが
中小企業向けインターネッ
トサーバーを発売

カシオ計算機は、専門知識を持たない人でも簡単にインターネットサーバーが利用できる「エクストラキューブ」を発売した。これは中小規模の企業向けオールインワンタイプのサーバーで、あらかじめユーザーの要望に合わせて、インターネット接続に必要な設定や電子メールアドレス、購入企業のホームページのドメインネームなどを本体に登録して納品される。

問い合わせ カシオ計算機(株) TEL 03-5334-4638



Product 京セラが
ネットワーク対応高速A3
レーザープリンターを発売

京セラは、ドラムカートリッジを使い捨てずにトナーのみ補給可能なノンカートリッジ技術(独自開発)採用のECOSYSプリンターシリーズ高速モデル「LS-6700」を発売した。毎分20枚の高速プリントアウトを実現し、最大1,350枚の給紙ができる。本体価格は258,000円でイーサネットカードは別売りとなっている。

問い合わせ 京セラコミュニケーションシステム(株)
TEL 03-3708-3871

URL <http://www.kccs.co.jp/>



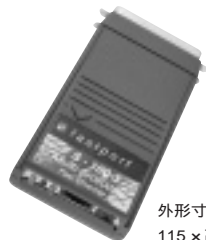
本体

ミリ

Product 理経が
ポケットサイズの
プリントサーバーを発売

理経は、10BASE-T/100BASE-TX対応の小型プリントサーバー「Fastport-100」(57,000円)を発売した。この製品は外付け型で、プリンターのパラレルポートに直結する。TCP/IP、IPX/SPX、EtherTalkなどのプロトコルに対応しているほか、ユーティリティソフト「Printset」で簡単にプリンターの管理や設定が行える。

問い合わせ 理経 TEL 03-3345-2189
URL <http://www.rikei.co.jp/hbm/fastport100.htm>



外形寸法は、幅65×奥行115×高さ30ミリ

Product ソフトウェア・トゥーが
GoLive CyberStudio
3.0の発売を発表

ソフトウェア・トゥーは、独GoLive社が開発したマック用ウェブデザインツールの最新バージョン「GoLive CyberStudio 3.0日本語版」を6月に発売する。これは、マックのインターフェイスと同様に操作でき、スタイルシート(CSS1)の作成や編集を視覚的に確認しながら簡単に進められ、HTML4.0にも対応。価格は56,800円。

問い合わせ ㈱ソフトウェアトゥー TEL 03-5676-2177



ダイナミックHTMLなどを作成する際の操作性やサイト管理ツールも充実している

Product 日本HPが
ウィンドウズCE 2.0
搭載機を発売

日本ヒューレット・パッカドは、マイクロソフトのウィンドウズCE 2.0を搭載したカラーパームトップPC「HP 620LX日本語版」を5月末に発売する。約590グラムと軽量なうえ、連続して7時間使用できる充電電池を装備している。内蔵ソフトではスケジュール管理ツール「Month-at-a-Glance」などがある。価格は140,000円。

問い合わせ 日本ヒューレット・パッカド ㈱カスタマーサポートセンター TEL 03-3335-8333
URL <http://www.jpn.hp.com/go/mobile/>



1時間以上録音可能なボイスレコーダーを内蔵

Product ヤマハがルーター製品の
ラインアップを強化
2機種を新発売

ヤマハは、インターネット/LAN間接続用のルーター2機種を5月21日に発売した。1つはリモートルーター「RT-140p」で、1.5Mbpsまでの高速専用線接続に対応したほか、専用線多重方式やINS1500の接続も可能になっている。もう1つは、イーサネットポートを2つ、BRIポートを1つ装備したローカルルーター「RT-140e」で、フレームリレーに対応している。

問い合わせ ヤマハ㈱システム機器事業部 TEL 0539-63-0082
URL <http://www.yamaha.co.jp/>



写真は「RT-140p」で価格は640,000円、「RT-140e」は320,000円

Product NECがUSB強化のTA
Aterm IT65 EXシリーズ
を新発売

NECは、Aterm IT65シリーズの後継モデルTAとして、USB機能を強化した新製品「Aterm IT65 EXシリーズ」を5月25日に発売した。今回発売されたのはDSU内蔵型の「Aterm IT65 EX/D」(42,800円)と非内蔵型の「Aterm IT65 EX」(34,800円)で、ともにUSBケーブルが標準添付になったほか、128Kbps通信時のパフォーマンスアップや着信履歴機能が強化された。

問い合わせ NEC パーソナルコミュニケーションインフォメーションセンター TEL 0120-361-138
URL <http://www.mesh.ne.jp/aterm/>



USBポートのセットアップも簡略化された

Product エプソンが
130万画素CCD搭載の
デジタルカメラを発売

エプソンは、130万画素CCDを採用したデジタルカメラの新製品「CP-600」を発売する。2インチTFTカラー液晶を搭載。露出とホワイトバランスをマニュアル設定によって調整できるのが特徴。10枚まで可能なVGA連写のほか、撮影モードも多様。また、4Mバイトの内蔵メモリー以外に、CFメモリーカードも装着できる。価格は84,800円。

問い合わせ エプソンインフォメーションセンター TEL 0424-99-7133
URL <http://www.i-love-epson.co.jp/>



デジタル2倍ズームを搭載

Product サンヨーが
音声付き動画撮影可能な
デジタルカメラを新発売

サンヨーは、ストレスを感じさせない操作性にこだわった1/3インチ35万画素CCD搭載コンパクトデジタルカメラ「Multi-z (マルチーズ) DSC-V100」を6月1日に発売する。音声付きの動画が撮影できたり、最速0.1秒間隔で15枚までの高速連写 (VGAサイズ) ができるうえ、撮影・再生時はデジタル2倍ズームが可能、液晶ディスプレイでは合成写真も作成できる。価格は58,000円。

問い合わせ 三洋電機(株)記録メディア事業部 国内販売部 TEL 0720-70-4184



スーパーワンチップLSI搭載の小型ボディ

Product コダックが
ブラックボディの高画質
デジタルカメラを発売

コダックは、総画素数109万画素の正方向画素CCDを採用した高画質デジタルカメラの「コダック デジタルサイエンス DC210A Zoom デジタルカメラ」を5月1日に発売した。DC210A Zoomは、先に発売されたDC210 Zoomの高画質はそのままだに、8Mバイトメモリーカードを付属し、ブラックストーンの新しいボディカラーやさまざまな機能を加えている。価格は79,800円。

問い合わせ コダック(株)カスタマーサポート
TEL 03-5644-5050



別売りの昇華型熱転写プリンターで自宅でも簡単に写真画質のプリントが可能

Product アイコムが
無線LANシステムの新製品を発売

通信機器総合メーカーのアイコムは、配線の手間を最小限に抑える無線ネットワークシステム「WAVEMASTER」シリーズを発売した。アクセスポイントの「AP-1」とクライアント側に接続する無線カード「UX-136」からなり、通信速度2Mbpsの伝送速度でデータ交換が可能。アクセスポイントのサービスエリアは半径50m。有線LANに接続されたパソコンとネットワーク共有ができる。価格はAP-1が168,000円、UX-136が59,800円。

URL <http://www.icom.co.jp/pc/seihin/>



AP-1 (左) と UX-136。AP-1は10BASE-T/2ポートを装備

Product インターマートシステムズが
パラレルポートに接続の
小型カードリーダーを発売

インターマートシステムズは、パラレルポートに接続する小型カードリーダー「PCD-30Pシリーズ」を発売する。PCカード用のPCD-30P、コンパクトフラッシュ用のPCD-CF30R、スマートメディア用のPCD-SM30Pの3機種があり、PCD-30PはオプションのPCカードアダプターを装着することで、すべてのカードに対応できる。また、PCD-SM30Pは、2、4、8、16Mバイト(3.3V / 5V)のスマートメディアが使用できる。さらに、プリンターやZipドライブなどの周辺機器を同時接続できる拡張コネクタも搭載。データの転送速度は約1.5Mbps。外寸は幅96×奥行き69×高さ25.4ミリ。価格は19,800円。ウィンドウズ95用のみ。

問い合わせ (株)インターマートシステムズ TEL 03-5489-8301

URL <http://www.intermart.co.jp/>

Product NTT DoCoMoが
赤外線インターフェイス
対応の携帯電話機を開発

NTT移動通信網は、移動通信端末のための赤外線通信規格IrMCに対応し、さらにデータ通信用のモデムアダプター機能を内蔵した携帯電話機を開発した。この電話機は、赤外線対応のためパソコンへの接続ケーブルやデータカードがなくてもデータ通信ができるのが特徴だ。また、携帯電話機間や携帯電話機とパソコンとの間でのメモリーダイアル(300件)の一括交換などが可能になっている。

URL <http://www.nttdocomo.co.jp/>



IrMCおよびデータ通信用モデム内蔵携帯電話試作機

Product オムロンがV.90と
K56flex双方に対応の
PCカードモデムを発売

オムロンは、国際標準規格ITU-TのV.90と現在のK56flexの両規格対応のPCカードモデム「ME5614C」を5月22日に発売した。通信方式に合わせて、両規格を自動的に切り替えて接続できる。2MバイトのフラッシュROMの搭載で、V.90の正式勧告時に規格変更があっても、ソフトウェアのアップグレードで対応できる(無償)。価格は23,800円。

問い合わせ (株)インターマートシステムズ TEL 03-5489-8301

URL http://www.intermart.co.jp



ウィンドウズ95/NT4.0、MacOS 8に対応

Product エレコムが
ネットワーク監視ソフトを
ハブに標準添付開始

エレコムは、自社ネットワークブランド「Laneed」の一部のハブにネットワーク監視ソフト「Navitool」を5月末より標準添付する。Navitoolをクライアント側のパソコンにインストールすれば、ネットワーク接続状況やトラフィック量が一目でわかる。このため、トラフィック量が多い場合は、それに合わせた上位モデルのハブへの切り替えなどの目安がわかるようになる。

問い合わせ エレコム総合インフォメーション
TEL 03-3981-4491



Windows95/98/NT対応。単独販売の予定はない

Product 米マイクロソフトがWWW
用アニメーション作成ツールの
版を無償公開

米マイクロソフト社は、WWW用アニメーション作成ツール「Liquid Motion 1.0」の版を5月4日に無償公開した。現在この版を使用できるのは英語版のWindows95とNTのみで、正式版は6月にリリースされる予定となっている。Liquid Motion 1.0はマクロメディア社の「Shockwave Flash」や「Shockwave for Director」のようにウェブページにアニメーションを組み込んで表現力を増大させるツールで再生にはJavaアプレット対応のWWWブラウザが必要。また、「Frontpage」との連動でHTMLへの組み込みやWWWサーバーへの送信もできるようになっている。

URL <http://www.microsoft.com/liquidmotion/>

Product システムソフトがマック上
でウィンドウズアプリが
動くソフトを発売

システムソフトは、米Connectix社が開発した、マック上でウィンドウズのアプリケーションを動かすことができるエミュレーションソフトの最新版「VIRTUAL PC 2.0 日本語版」を発売した。旧バージョンに比べて40パーセントも高速に動作するほか、ウィンドウズ95だけでなく、ウィンドウズNTや98、OS/2の動作もサポートする。価格は39,800円（ウィンドウズ95付き）。

URL <http://www.systemsoft.co.jp/>



簡単にクロスプラットフォームの環境ができる

Product 東芝がマイクロソフト
オフィスに対応した
翻訳ソフトを発売

東芝は、マイクロソフトオフィスに含まれるワード、エクセル、パワーポイントの3つのソフトに対応した翻訳ソフト「The 翻訳オフィス V1.0」を6月1日に発売する。同ソフトをセットアップするとオフィス各ソフトのメニューやツールバーに「The 翻訳オフィス」の項目が追加され、英日・日英の翻訳が可能になる。23万語の英日基本辞書（日英は8万語）を搭載。価格は16,800円。

問い合わせ 株式会社 東芝 TEL 03-3457-2725
URL <http://eiplaza.toshiba.co.jp/>



Windows95/NTに対応している

Product アスキーサムシンググッド
が暗号メール機能搭載の
メールソフトを新発売

アスキーサムシンググッドは、多機能メールソフト「Emily」にメールの暗号化や電子署名の機能を内蔵してバージョンアップした「Emily Ver.2.0+」を5月29日に発売する。また、同時に暗号メール機能のない「Emily Ver 2.0」も発売する。暗号メール機能では、S/MIME規格を採用し、同じ規格を搭載したほかのメールソフトとの相互運用性を保証している。価格は暗号メール版が14,800円、標準版が10,000円。

URL <http://www.asg.co.jp/>



画面はEmily Ver.2.0+。

Product システムソフトが
ネットワーク対戦機能付き
麻雀ゲームを発売

システムソフトは、5月30日にインターネット通信対戦機能付きの麻雀ゲームソフト「アクセスガールズのインターネット麻雀」を発売する。専用サーバーにアクセスしてユーザー同士で対戦できるほか、大原かおり、パイレーツ、小島可奈子など16人のアイドルタレント扮するコンピュータキャラクター（雀士）とも対局できる。価格は9,800円（CD-ROM）、Windows95版のみ。

問い合わせ システムソフトインフォメーション
センター TEL 092-752-5264

URL <http://www.systemsoft.co.jp/>



16人のアイドルタレントと対局できる

Service

ポイントキャストが 米国株式相場などの コンテンツを強化

ポイントキャストは、プッシュ型ニュース配信ソフト「ポイントキャストネットワーク日本版 2.0」に、5月22日から海外企業情報などの新コンテンツを追加した。新しい内容が加えられたのは企業チャンネルで、米国株式市場 -- ニューヨーク(NYSE) アメックス(AMEX) ナスダック(NASDAQ) -- に上場している企業の株価(前日終値)と、上場各企業の英文プレスリリースからなる「米国企業情報」のほか、東京証券取引所一部・二部上場企業の株式資産情報。すでにポイントキャストのユーザーであれば、ポイントキャスト画面に表示されているアップグレードボタンをクリックするだけで、新たなコンテンツを受信することができる。

URL <http://www.pointcast.ne.jp/>

Service

豊田通商が大容量データを インターネットで送信できる サービスを開始

豊田通商は、米e-Parcel社の技術を採用して、大容量のデータをインターネットを使って安全に、速く、確実に送る電子宅急便「e-Parcel Digital Delivery Service」を5月18日より全国で開始した。独自形式で送信データを圧縮、そのデータ量に上限はない。独自のクライアントソフトを使用するため、プロバイダーのメールサーバーに負担をかけることなく、データの送受信が可能になる。

URL <http://www.e-parcel.ne.jp/>



相手の受信状況もリアルタイムで知ることができる

Service

ネットスケープとUSA. NETが無償の電子メール サービスの提供を発表

米ネットスケープコミュニケーションズとUSA.NETは、ネットスケープのウェブサイト玄関口であるネットスケープネットセンターを通じて、無償で電子メールサービスを行うことを4月22日に発表した。この新しいサービスは「Netscape WebMail by USA.NET」という名称で、インターネットにアクセスできるすべてのユーザーに対し、ウェブベースの電子メールを提供する。これは、すでにサービスを行っているNetscape IN-BOX Directやユーザー検索サービスのNetcenter Member DirectoryとUSA.NETの機能豊富なウェブベースの電子メールと組み合わせて実現している。このサービスは7月31日までに開始される予定。

URL <http://home.netscape.com/news.html>

Service

朝日新聞社が 辞書機能付き英文ニュー スページを開設

朝日新聞社は、「asahi.com」で英文ニュースを利用する人向けに、意味のわからない英単語にマウスのポインターを当てただけで辞書機能が動き、ポップアップ画面で訳語を表示するサービス「ポップアップ英和ニュース」を開始した。これはセンチアス社の和訳システム「RichLink」を採用している。このプラグインはasahi.comページよりダウンロードできる。

URL <http://www.asahi.com/information/popup.html>



対象はasahi.comのEnglish Newsページ内「Asahi Evening News」

Service

全日空がツアー参加者に GPS機能付きPDAのレ ンタルサービスを開始

全日空は、5月14日からバックツアーの新商品「ANA's 遊遊ナビ」で、参加者にインターネット接続ができるGPS機能付き情報携帯端末の無償貸し出しサービスを開始した。対象は「ANA's 遊遊ナビ」(期間7月1日から9月30日まで)の羽田着または伊丹/関西空港着のコース。このPDAはセイコーエプソン製で、「Mapion」や「びあ」が情報提供という形で協力している。

URL http://svc.ana.co.jp/dms_svc/



このPDAで東京・大阪への旅行が一層楽しくなる

Service

ネットウール・コミュニ ケーションズがインター ネットFAXサービスを開始

ネットウール・コミュニケーションズは、インターネットFAXソフト「NeTrueFax Soft」を発売し、同時にFAX送信サービスを開始した。このサービスは特別なアクセスポイントではなく、ユーザーが現在利用しているプロバイダー経由で利用できるのが特徴。ソフトの価格は7,800円。FAX送信では、インターネットを利用するためコストが安い(アメリカへは1分約40円)。

URL <http://www.nettrue.ne.jp/>



詳しい料金体系はホームページを参照

Service

ジーアールホームネットが 学校向けネットワークサー ビスを販売開始

ジーアールホームネットは、NTTが取り組んでいる教育分野へのさまざまな施策に対して企画されたインターネット利用のサービス「えでゆけっと」の販売を4月14日より開始した。これは、学校での子供たちによるネットワーク利用を促したり、マルチメディア能力を育てるとともに、学校と家庭を結ぶ情報通信ネットワークの構築支援を目的としている。このため、インターネットや電子メールが安く利用できる「アカデミックライセンス」や、ホームページ開設用のサーバーを安価にレンタルできる「アカデミックサーバー」、簡単に学校のホームページを作成できるツールなどのサービスが用意されている。

URL <http://www.plala.or.jp/plala/academy/academy.htm>

Service

住友商事とIJJが 米ライコス社と共同で 各種情報サービスを開始

住友商事とIJJは、米ライコス社と共同で、インターネット上で情報検索サービスや各種情報提供サービス事業の新会社を設立、サービスを開始する。新会社名は「ライコス・ジャパン」で、サービス名は「ライコス・パーソナル・インターネットガイド」となる。この新会社は、ウェブサイトでの検索をレーティング（格付け）や音声、画像などでできるようにし、使いやすく質の高いサービスを目指す。そのほか、ニュースや旅行ガイドなどの情報提供や無料電子メール、チャットのコミュニティーサービスなども展開する。収入はウェブサイトにつけるバナー広告により、ユーザーに対しては無料でサービスを提供する。

URL <http://www.ijj.ad.jp/whatsnew/lycosjapan.html>

Service

住友銀行が ペリサインの電子証明 ソリューションを採用

住友銀行は、インターネットバンキング「Webダイレクト」にペリサインの電子認証ソリューション「OnSite」の採用を発表した。「OnSite」は、サービス提供者が自社ブランドの認証証明書（デジタルID）をサービス利用者に対して発行できるソリューションで、実際の運用、管理業務はペリサインがサポートする。また今回ペリサインより販売されたこのシステムは、米国が金融機関にのみ輸出を許可しているSSL128ビット暗号に対応しており、同行はこのSSL128ビット暗号化通信を利用する最初の金融機関となる。Webダイレクトのサービス開始は6月22日の予定。

URL <http://www.verisign.co.jp/>
URL <http://www.sumitomobank.co.jp/>

Service

NTT PC コミュニケーションズがホスティングサービスの 新ラインアップを発表

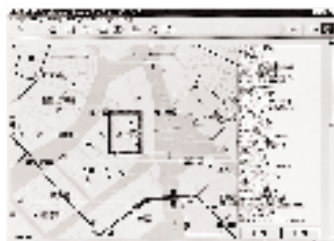
NTT PCコミュニケーションズは、6月1日からホスティングサービス「WebARENA」に新たなラインアップと、WWWコンテンツにさまざまな機能を追加するソリューションパックの提供を開始する。新ラインアップには、帯域制御技術「PacketShaper」を利用した「Gold」サービスとエントリークラスの「Bronze」のサービスを追加して、WebARENAのサービス体系を細分化する。ソリューションパックには、アンケート調査サービス「ARENA Research」、メールリストサービス「ARENA ML」、インターネットショッピング支援サービス「ARENA EC」など、7種類のサービスがあり、WWWコンテンツに追加することができる。

URL <http://www.arena.ne.jp/>

Service

デジタルウェアがゼンリン と提携しウェブ上で住宅 地図提供サービスを開始

デジタルウェアは、自社の不動産マーケティングシステム（コアネット）会員に対して、ゼンリンと提携してインターネットで地図情報を簡単に取得できるサービスを独自に開発、提供を開始した。パソコン画面上の「ゼンリン電子地図97」から目的の地域をマウスで指定してクリックするとその位置の住宅地図が瞬時にブラウザ上に表示できる。問い合わせ（株）デジタルウェア システム営業部 TEL 03-5381-7481



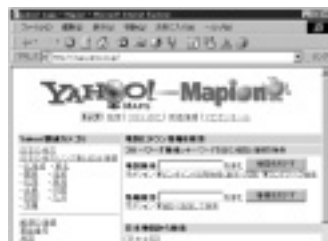
コアネット上でのゼンリン電子地図からの住宅地図選択

Service

地図サイト「マピオン」の サイバースマップ・ジャパ ンが新サービスを開始

地図情報サイト「マピオン」を運営するサイバースマップ・ジャパンに、これまでのNTT、凸版印刷の2社に加え、新たに電通、ヤフー、シャープの3社が資本参加した。同社では、ヤフーのサイトと提携して地図情報を提供する「Yahoo! Mapion」や、NTT中央パーソナルの「PHS位置情報サービス」を利用してPHS所有者の位置が確認できる「いまどこマピオン」などのサービスを提供する。

URL <http://www.mapion.co.jp/>



インターネット地図情報を広告メディアとしても活用する

Service NTTインターネットがインターネットで選挙の開票速報サービスを開始

NTTインターネットは、地方自治体などからの委託を受け、選挙開票の速報をインターネットでリアルタイムに行うサービスを開始する。インターネットによる選挙速報はすでに千葉県浦安市や柏市などが独自に手掛けているが、このサービスを提供することで、同社は、各自治体の手間が省けるほか、より質の高いサービスが可能になるとしている。このサービスは各選挙管理委員会より広報活動の一環として委託され、ホームページ上に選挙の開票率や候補者別の得票数を選挙管理委員会の発表と同時進行で掲載と更新を行う。この際の数値は選挙管理委員会がチェックしたものを使用することになる。

URL <http://senkyo.ntt-itn.co.jp/>

Service 日本ビクターがカラオケのコンテンツ配信サービスをインターネットでも開始

日本ビクターは、6月1日から、カラオケのコンテンツ配信サービス「KingTong」をインターネット上でも開始する。同時に、「ぶらら」上でのサービスもリニューアルし、マックに対応する。インターネット店では、NTT ビジュアル通信提供のマルシェアベニュー（ダイヤルQ2を利用した小額コンテンツ課金）を採用し、曲データの購入を簡単にした。

URL <http://www.kingtong.com/>（6月1日～）



6月1日リニューアルオープン予定のぶらら店

Service 日本能率協会のモバイルコンテンツ研究会がウェブサイトを開設

日本能率協会のモバイルコンテンツ研究会は、モバイルユーザー向けのコンテンツを集めた「モバイルポッケ」を開設し、99年5月まで試験運用を行う。内容は時刻表データベースと連携した経路探索・地図情報の「トラベルナビゲータ」、住所探索、ビジネス姓名判断、各種リンク集など。試用期間終了後にサービスを有料化するかにについては、今後の研究会で検討する予定。

URL <http://www.mobilepocke.gr.jp/>



モバイルユーザー向けコンテンツが充実

Service 円谷プロがPanasonic Hi-HOの協力で公式ホームページを開設

円谷プロダクションは、松下電器産業が運営するプロバイダー「Panasonic Hi-HO」の協力のもと、公式ホームページ「Official Home Page TSUBURAYA」を開設した。同ページは、「Digital Island」、Tsuburaya NEWS、などで構成され、文字だけでなく、動画や音声によるインターネット放送も行われる。また、ファンのためのフォーラム（掲示板）も用意されている。

URL <http://www.tsuburaya-prod.co.jp/>



円谷プロダクションの公式ホームページ

Service インプレスがゴルフトーナメントのスコアをリアルタイムで発信

インプレスは、スポーツグラフィックスシステムインテグレーターのテクノネットと共同で、国内で初めてゴルフトーナメントのスコアをリアルタイム中継する技術実験を開始した。これは、インプレスの「SPORTS Watch」内で閲覧できる。サービスを開始したフジサンケイクラシックの初日には6万ビューを記録、今後も国内で行われるメジャートーナメントをスコア中継していく予定だ。

URL <http://www.watch.impress.co.jp/sports/>



ゴルフトーナメントのスコア画面

Service アイルが「gTLD」の先行予約代行サービスを開始

アイルは、4月10日、「.web」、.shop、.arts など7種類の新しい国際的トップレベルドメイン名「gTLD (Generic Top Domain)」の先行予約代行サービスを開始した。予約の申し込みはホームページから行うことができる。申し込みの手数料は無料で、ドメインの登録料金は2年間で100ドル。ドメインが取得できなかった場合は料金はかからない。

URL <http://top-domains.net/>



ホームページから予約を申し込むことができる

Service ターフ・メディア・システムがJRA-VAN競馬ソフトコンテストを開催

JRA-VANを管理、運営しているターフ・メディア・システムは、JRA-VANデータに対応した競馬ソフトコンテストを開催する。このコンテストは今回で3回目の開催で、審査会長は、競馬評論家の井崎脩五郎氏がつとめる。応募条件は、JRA-VANデータに対応した競馬ソフトなら、オンラインソフトや市販ソフトのマクロなどの別は問わない。応募期間は、平成10年5月1日から平成10年8月20日(必着)まで。審査発表は、平成10年9月18日の予定で、グランプリに選ばれたソフトウェアの作者には賞金300万円、準グランプリには100万円、佳作には30万円、審査員特別賞には50万円、努力賞には10万円がそれぞれ贈られる。

問い合わせ (株)ターフ・メディア・システム
TEL 03-3645-7851

URL <http://www.JRA-VAN.ne.jp/>

Service ジャストシステムとロータスが共同マーケティング活動を実施

ジャストシステムとロータスは、ジャストシステムが5月末に発売するロータスのインターネット/イントラネット用のグループウェア「ノーツ/ノーツドミノ」用情報検索システム「ConceptBase Search for Lotus Notes」において、共同マーケティング活動を実施していくことで合意した。まず、既存のノーツユーザーに対してこのシステムを積極的にプロモーションするほか、両社のビジネスパートナーやディベロッパーに対しては、相互にいち早く情報を提供する。また、ロータス主催のセミナーメニューに同システムを加えるほか、共同プロモーションや共同広告の実施も検討している。

問い合わせ (株)ジャストシステム インフォメーションセンター TEL 03-5412-3939、06-886-9300

URL <http://www.justsystem.co.jp/news/>

Service マイクロソフトとソニーがホームネットワーク実現に向けた相互協力の基本合意

米マイクロソフトとソニーは、コンシューマー向けAV機器にPCを加えたホームネットワーク製品の実現に向けて、互いに協力し合うことで基本合意した。両社はこの実現に向けて、それぞれ製品ライセンスの取得のために検討を行っている。ソニーはウィンドウズCEライセンスとソニー製品への搭載、マイクロソフトはソニーのネットワークモジュールのライセンスとウィンドウズCEへの搭載について検討している。これらのライセンスの取得がPCとAV製品間の垣根を取り払い、ホームネットワーク化が進むものと見られる。また、デジタル放送分野に関しても、両社はデジタルTVのフォーマットもサポートする予定になっている。

URL <http://www.microsoft.com/japan/info/releases/0408sony.htm>

Product ディレクトリーサーバー中心のソリューションを提供 ネットスケープスイートスポットプラス3.5 出荷開始

ネットスケープ社のサーバーソフト群、スイートスポット3.5日本語版の出荷が6月4日に開始される。スイートスポットは各種サーバーによって構成されるが、今回の発表では、各サーバーの単体販売も続けられることが明らかになった。編集部

出荷開始される日本語版スイートスポットは「プラス3.5」で、アドミニストレーションサーバー3.5、ディレクトリーサーバー3.1ja、エンタープライズサーバー3.5.1ja、メッセージングサーバー3.5.1ja、コラボラサーバー3.5.1、カレンダーサーバー3.5.1の6つのサーバー製品で構成されている。また、顧客からの要望が多かった各サーバーの単体販売も引き続き行われる。

対応OSは初期出荷ではインテル版ウィンドウズNTとSUN Sparc版Solarisで、これ以降HP-UXなどUNIXプラットフォームへの対応も予定されている。

スイートスポットプラス3.5で追加された機能は次のとおり。

エンタープライズサーバーでは特にパフォーマンスアップが図られたほか、フロントページエクステンションやDBアクセスのマルチスレッド処理、Java Servletなどに対応した。メッセージングサーバーにはウィンドウズNTのドメインユーザー登録時の自動メールアカウント作成機能や、スパムメールおよび踏台サイト対策のためのフィルター機能が追加された。ほかに、LDAPバージョン3対応のディレクトリーサーバーや、今回初めて日本語に対応したコラボラサーバーとカレンダーサーバーなど、注目すべき点は多い。

ネットスケープ社は、スイートスポットサーバー製品群の中でディレクトリーサー

バーを中心と位置付けており、各サーバー製品とコミュニケーターなどのクライアントソフトとの連携を強める方針を打ち出している。今後、「ミッションコントロールデスクトップ」というコミュニケーターのカスタマイズツールを使い、ディレクトリーサーバーに置かれたユーザーごとの設定をサーバー側からクライアント側に自動で送る仕組みを提供するとしている。

このような戦略を裏付けるように、単体販売の各サーバーにディレクトリーサーバーがバンドルされている。

なお、今回の発表にあたっては、ユーザーからの要請を受けるかたちで日本法人としては初めて「希望小売価格」を提示する方針をとっている。スイートスポットの希望小売価格は、15クライアントで198,000円、50クライアントで630,000円を予定しているという。

URL <http://home.netscape.com/ja/>

Event イベントカレンダー(1998年6月~9月)

カレンダーの日程はあくまでも予定です。お出
かけの際は、問い合わせ先へお確かめください。

国内

開始日	終了日	名称	概要	開催場所	主催・問い合わせ先
6月3日	6月5日	NETWORLD + INTEROP'98 TOKYO URL http://www.sbforums.co.jp/interop.htm	最先端のネットワーク技術 & 情報に関するアプリケーションとインフラの展示会。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主・関 ソフトバンクフォーラム Tel.03-5642-8433
6月10日	6月12日	ケーブルテレビ'98 URL http://www.catv.or.jp/	「楽しさ満開、便利にあれこれ、ケーブルテレビ」をテーマに、ケーブルテレビを利用した新しいサービスや技術の展示会やシンポジウム。	池袋サンシャインシティ 東京都豊島区東池袋3-1	主(社)日本ケーブルテレビ連盟、(社)日本CATV 技術協会、ケーブルテレビ番組供給者協議会 関 CATV'98実行委員会事務局 Tel.03-5551-9543 Fax 03-5551-9549
6月10日	6月12日	ビジネスショウ'98 OSAKA URL http://www.noma-businessshow.or.jp/osaka/	東京でも開催された展示会で、「情報通信」、「事務処理」、「情報処理」の3つの分野の活動を支援する。	インテックス大阪(大阪国際見本市会場) 大阪府大阪市住之江区南港北1-5-102	主(社)日本経営協会、大阪商工会議所 関 日本経済協会関西本部ビジネスショウグループ Tel.06-443-6093 Fax 06-459-1626
6月23日	6月25日	NETWORK KANSAI 98 URL http://www.jma.or.jp/CONVENTION/cgnet98/	インターネットやLAN、WANなどのネットワークについてのソフト、ハード、サービスに関する展示会。「COMPUTER GRAPHICS OSAKA 98」と併催。	マイドームおおさか 大阪府大阪市中央区本町橋2-5	主・関(社)日本能率協会関西地域本部 Tel.06-261-7151 Fax 06-261-5852
7月1日	7月4日	WINDOWS WORLDEXPO/Tokyo '98 URL http://www.idgexpo.com/	ウィンドウズ対応ハードウェア & ソフトウェアの展示会とコンファレンス。「Computer Telephony World Expo/Tokyo '98」と併催。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 IDG ワールドエクスポジャパン 関 WINDOWS WORLD Expo/Tokyo '98 統括事務局 Tel.03-5276-3751 Fax 03-5276-3752
7月8日	7月10日	EXPO COMM WIRELESS JAPAN '98 URL http://www.ejkruse.com/expocomm/asia/japanwireless98.htm	モバイルコンピューティングや携帯電話などに関する展示会とセミナー。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主・関 E.J.クラウス & アソシエイト日本支社 Tel.03-3586-7865
7月15日	7月17日	JAVA COMPUTING EXPO '98 for ENTERPRISE URL http://www.nikkei.co.jp/events/jce/	Java関連製品を中心としたイントラネット/グループウェアなどの企業情報システムや周辺機器などの展示会。	東京ビッグサイト 東京都江東区有明3-21-1	主 日本経済新聞社 関 日本経済新聞社事業局総合事業部 Tel.03-5255-2847 Fax.03-5255-2860
7月24日	7月26日	ぱそまる'98 URL http://www.nikkei.co.jp/events/pasomaru/	ホームコンピューティングに関する展示会。パソコンやインターネットが普及するなか、家族で楽しむ新しいライフスタイルを展示する。スクリーンや相談コーナーなども用意。	東京ビッグサイト 東京都江東区有明3-21-1	主 日本経済新聞社 関 日本経済新聞社事業局総合事業部 Tel.03-5255-2847 Fax.03-5255-2860
9月2日	9月4日	インターネットワールドジャパン'98 URL http://www.idgexpo.com/iw98/i-world_top.html	インターネット関連製品の展示会。情報・通信機器メーカーが集合。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 IDG ワールドエクスポジャパン 関 Internet World Japan 98統括事務局 Tel.03-5276-3751 Fax.03-5276-3752
9月16日	9月18日	IBM 総合フェア98 URL http://www.nikkeibp.co.jp/event/ibm/	IBMがわかる総合プライベートショー。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 日経BP社
9月30日	10月3日	WORLD PC EXPO 98 URL http://www.nikkeibp.co.jp/event/wpc/	特定の機種やOSに限定しないで、パソコンのハードやソフトからサービスに至るまで、あらゆる製品や技術が一堂に会するパソコン総合展示会。	日本コンベンションセンター(幕張メッセ) 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1	主 日経BP社

海外

開始日	終了日	名称	概要	開催場所	主催・問い合わせ先
6月16日	6月18日	PC EXPO 1998 URL http://www.pcxpo.com/highlights.html	世界最大級のコンピュータテクノロジー総合展示会。	Jacob K. Javits Convention Center New York, NY, USA	関 Miller Freeman Group USA Tel. +1-800-829-3976
7月6日	7月10日	MACWORLD Expo URL http://macworld.zdnet.com/	マッキントッシュ関連のハードウェア、ソフトウェア、周辺機器などの展示会。	Jacob K. Javits Convention Center New York, NY, USA	関 MACWORLD Expo/New York Tel. +1-800-645-3976
7月13日	7月17日	Internet World Summer 98 URL http://events.internet.com/summer98/	インターネットの総合展示会。	McCormick Place Chicago, IL, USA	関 Mecklermedia Corporation Tel. +1-203-226-6967 Fax. +1-203-226-6976
7月21日	7月24日	INET '98 : The Internet Summit URL http://www.isoc.org/inet98/	インターネット学会による国際会議。	Palexpo Geneva, Switzerland	関 Internet Society Tel. +1-703-648-9888 Fax. +1-703-648-9887
8月11日	8月13日	WebIT 98 URL http://www.kingbird.com/webit98/	Webアプリケーションと企業のイントラネットに関する展示会。	Hynes Convention Center Boston, MA, USA	関 KINGBIRD Media Group Tel. +1-212-840-7280 Fax. +1-212-869-2110
9月8日	9月11日	COMDEX/Enterprise San Francisco '98/Object World West URL http://www.comdexenterprise.com/	インターネットテクノロジーの展示会、カンファレンス。	Moscone Center San Francisco, CA, USA	関 SOFTBANK COMDEX Tel. +1-781-433-1500
9月23日	9月26日	ICE(Internet Commerce Expo) URL http://www.idg.com/ice/	インターネットコマース関連の展示会。	Los Angeles Convention Center Los Angeles, CA, USA	関 Internet Commerce Expo/IDG Expo Management Company Tel. +1-508-820-8675



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp